



酒蔵紹介

軸屋酒造

鹿児島県薩摩郡さつま町にある蔵元。

北薩摩霊峰紫尾山の地底より汲み上げられた冷水を使用し滋味溢れる焼酎を生み出す。

創業以来旬のみが持ち合わせている自然の滋味を活かすことを信条とするため

量産を避け、軸屋酒造独自の風味を維持する姿勢を誠実に守り、貫き通している。

神酒造

鹿児島県出水市高尾野町にある蔵元。

明治5年創業、神右八郎が創業。「神焼酎」の誕生。大正14年、製糸工場を創設し昭和17年まで創業していた。当時の石蔵が現存し、今では焼酎の甕貯蔵に使われている。創業当初より土中に埋められた和甕にて仕込みが行われた歴史と伝統を守り続けている焼酎蔵です。

指宿酒造

鹿児島県指宿市池田にある蔵元。

昭和62年創業の老舗蔵元五社が規模の大きな製造に着手すべく協業化し

各社の伝統・技術を用いて「利右衛門」を誕生させた。地元指宿でたくさんの愛飲家を

増やす為、さつま芋の選別から加工まで丁寧な作業を続け、現在は指宿中で販売されている。

さつま無双

鹿児島県鹿児島市七ツ島にある蔵元。

昭和41年、鹿児島県酒造協同組合傘下の全業社の協力のもと、全国に鹿児島県の

焼酎を広めるためにさつま無双を造り始める。全国に鹿児島県の本格焼酎として発表する

「薩摩に双つと無い」という名前に相応しい酒質風味ともに風格ある原酒をブレンドして

「さつま無双」が誕生した。

本坊酒造

鹿児島県鹿児島市南栄にある蔵元。

明治5年の創業。本坊松左衛門は、年号も明治に変わっていない間もない混乱の頃より

父郷右衛門の志「殖産興業による社会奉仕」という精神を受け継ぎ事業を展開。

明治後半には、薩摩を代表する特産物である甘藷を使つての焼酎製造に着手。

創業以来一貫して変わらぬ姿勢、郷土愛に根ざす創業の精神を今もなお受け継いでいる。